

令和3年度第2回スポーツ振興事業助成審査委員会議事要旨

1 日 時 令和3年10月26日(火) 13:00～14:40

2 場 所 ※Web会議形式による開催

3 出席者 [審査委員]

藤田委員長、杉田第一部長、北村第二部長、赤羽委員、井澤委員、伊藤委員、
遠藤委員、小沢委員、齊藤委員、鈴木委員、西委員、二宮委員、能瀬委員、
服部委員、藤丸委員、松田委員、村井委員

[独立行政法人日本スポーツ振興センター]

芦立理事長、松坂理事、猪村スポーツ振興事業部長、鴨井支援企画課長、
中出支援第一課長、三宅支援第二課長

4 議 事

■令和2年度スポーツ振興事業助成評価(案)について

資料1及び資料2に基づき、事務局から説明を行った。

<質疑応答等>

(○:審査委員 △:JSC)

- | |
|--|
| <p>○ これまでにC評価を受けて、事業を見直したものはあるか。</p> <p>△ ニーズが少ないことを受け、募集を停止したメニューはある。また、総合型地域スポーツクラブは助成を受けられる年限である5年を経過したクラブが増えたことにより、申請件数が年々減少してきていることから、評価の提言を受け、令和元年度から新しい助成メニューとして「新規会員獲得事業」を設けたところである。</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブ活動助成の申請件数が減ってきているとのことで、全国的に見ても総合型地域スポーツクラブの運営が思うようにいっていない面もあると思う。総合型地域スポーツクラブは行政とともに歩む必要があると思うので、総合型地域スポーツクラブと市町村が一緒に取り組めるような多角的な事業を今後ご検討いただけるとよいと思う。</p> <p>△ 地域において総合型地域スポーツクラブが果たす役割を踏まえ、助成事業を創設し、継続してきたところである。今後、総合型地域スポーツクラブがこういった役割を担っていくのかを注視しながら、役割に基づいた助成メニューの見直しを検討していきたいと考えている。</p> <p>○ 総合型地域スポーツクラブは、国が検討を進めている「運動部活動の地域移行」における地域の受け皿として期待されているものと認識している。総合型地域スポーツクラブの事業は廃止・縮小ではなく、継続をお願いしたいと考えている。</p> <p>△ 今後の国の政策等を踏まえ、総合型地域スポーツクラブの役割の中で助成メニューの見直しをしたいと考えている。</p> |
|--|

- タレント発掘事業がJOC等の加盟団体や都道府県等、昔からの枠組みの中での事業を対象としていると、オリンピックに加わった新種目等の新しいスポーツへの対応が遅れるのではないか。
- △ それぞれのスポーツの体系の中でアスリートをどう育てていくか、統括団体等とも協議しながら、過去の例にとらわれず、助成メニューの見直しを検討したいと考えている。

令和2年度スポーツ振興事業助成評価（案）について、原案どおり承認された。

■ 令和4年度スポーツ振興事業助成に係る交付対象事業の募集（案）について

資料3及び資料4に基づき、事務局から説明を行った。

<質疑応答等>

(○：審査委員 △：JSC)

- 下部リーグ開催事業の要件変更は、大学生くらいまでの範囲のリーグを想定しているのか。
- △ リーグによっては大学生や大学を卒業してから所属して育成するものがあり、これらはこれまでも対象としていたが、実態に合わせて記載を見直したところである。
- クラブアドバイザー等配置事業に記載の「中間支援組織」は既に存在するのか、設立主体はどこか。
- △ 中間支援組織は来年度から運用を開始すると聞いている。主体は都道府県の体育・スポーツ協会が中心になると聞いている。

令和4年度スポーツ振興事業助成に係る交付対象事業の募集（案）について、原案どおり承認された。

なお、今後、募集内容等に変更が生じた場合は、その取扱いについて委員長及び関係部会長に一任され、とり進めていくことが確認された。

以上